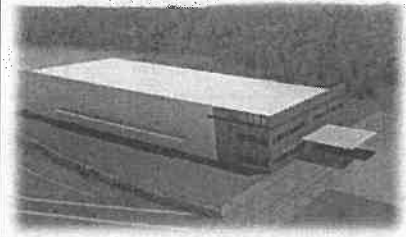


# CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)共栄製茶木津川開発事業セ	階数	地上2F
建設地	京都府木津川市梅美台8丁目1番2	構造	S造
用途地域	準工業地域	平均居住人員	35人
地域区分	S地域	年間使用時間	2,400時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年11月 予定	評価の実施日	2018年3月13日
敷地面積	31,818 m <sup>2</sup>	作成者	稲見 友亮
建築面積	3,057 m <sup>2</sup>	確認日	2018年3月15日
延床面積	4,742 m <sup>2</sup>	確認者	吉田 秀栄



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

②建築物の取組み 82%

③上記+②以外の 82%

④上記+ 82%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです。

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5

Q1 室内環境: 3

Q3 室外環境(敷地内): 3

LR1 エネルギー: 3.7

LR2 資源・マテリアル: 3.2

LR3 敷地外環境: 3.4

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.9**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR のスコア = 3.5**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		その他
<b>総合</b> 木津川市に新設される工場+事務所の計画である。十分な断熱性能、高効率設備の採用により省エネルギーに配慮すると共に、利用者の快適性を考慮し音環境や空気質環境への配慮及び耐用性・対応性に配慮した計画としている。		特になし
<b>Q1 室内環境</b> サッシの遮音性能、仕上材の吸音性能に配慮した音環境の向上 十分な自然換気面積等による空気質環境の向上	<b>Q2 サービス性能</b> 更新間隔の長い配管材料の採用による耐用性の向上 十分な階高と壁長さ比率による対応性のある計画	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 植栽によるまちなみへの景観配慮
<b>LR1 エネルギー</b> 高効率設備の採用による省エネルギーへの配慮	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水機器の採用による水資源保護への配慮 再利用可能ユニット部材採用による省資源への配慮	<b>LR3 敷地外環境</b> LCCO <sub>2</sub> 排出量削減に配慮

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される